

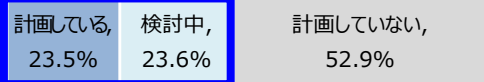
- ◆調査目的:半導体など戦略産業の国内立地が進み、地域経済を牽引する中堅・中小企業においても、成長分野への設備投資が活発化。一方、産業用地等の事業インフラ不足が顕在化。投資環境整備に向けた政策提言の基礎資料とするため、中堅・中小企業の投資動向等について調査を実施。
- ◆調査期間:2024/9/2～10/4 ◆調査対象:①中堅・中小企業、②商工会議所 ◆回答数:①684社(回収率44.2%)、②353商工会議所(68.5%)

- ポイント1**
- 地域経済を牽引する中堅・中小企業(地域未来牽引企業等)は、高い投資意欲を有し、大型の拠点整備を含め、積極的に投資
 - 一方、各地域では投資の受け皿となる産業団地・用地が不足
- ポイント2**
- 中堅・中小企業は、需要増や老朽化対応のみならず、成長分野への進出にも積極的に投資を展開
 - 拠点新設を行う際は、本社との近接性のほか、事業インフラの整備・災害リスクの少なさを重視する企業が増加
- ポイント3**
- 中堅・中小企業は、地方圏への投資を着実に実施。今後も地方圏への積極的な投資が見込まれる
 - 各地域において若者・女性の転出による人手不足が課題となる中、投資に積極的な企業は女性活躍の取組みにも精力的であり、良質な雇用の創出を通じて若者・女性の定着に貢献

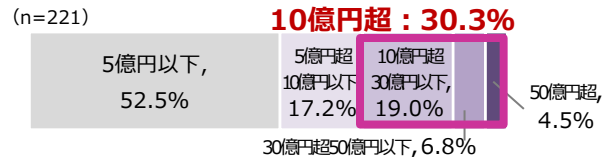
ポイント1

中核・中堅の5割が今後投資を予定

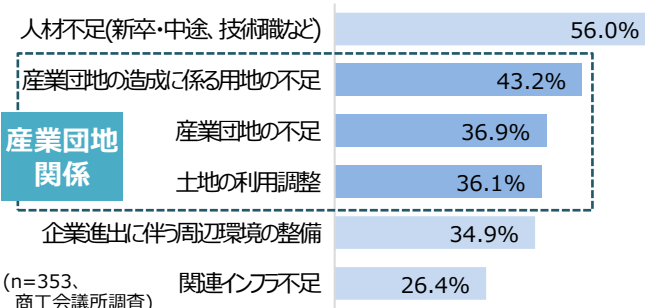
計画している・検討中 : 47.1% (n=677)



投資額(予定)は3割が10億円超

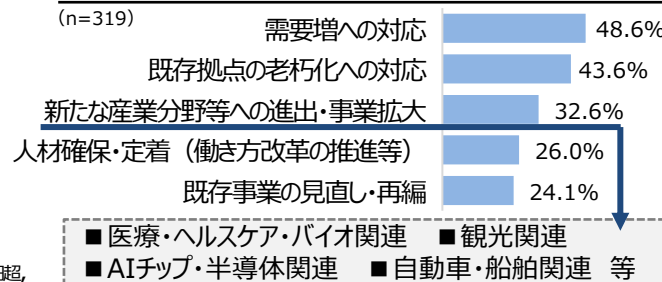


各地で産業団地・用地不足が企業誘致の課題に

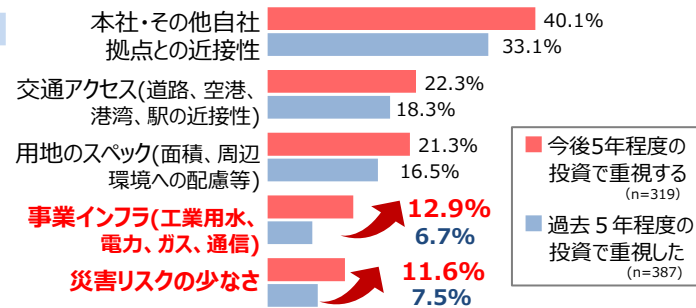


ポイント2

今後の投資目的は需要増への対応のほか、新たな成長分野への挑戦も多い

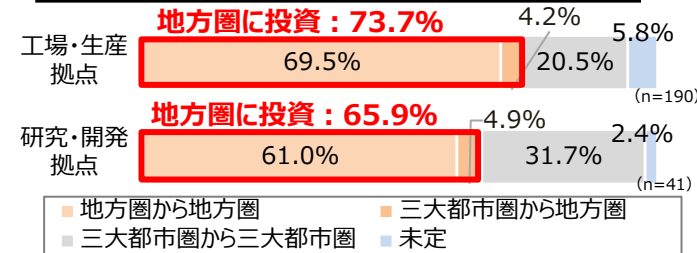


拠点新設時には、事業インフラの整備や災害リスクの少なさを重視する企業が増加



ポイント3

今後も地方圏への積極的な投資が見込まれる



投資を計画している企業の6割が女性活躍に取り組んでいる

